

平成 24 年 9 月吉日

第 8 回中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2012) 共催

原子力災害における放射線被ばくを考える (松山)

開催日：平成 24 年 10 月 28 日 (日)

時 間：8 時 50 分 ～ 10 時 10 分

会 場：松山市総合コミュニティーセンター
松山市湊町七丁目 5 番地

定 員：100 名 (参加費は無料ですが、CSFRT2012 との共催のため参加登録が必要です)

共 催：中四国放射線医療技術フォーラム 2012

公益社団法人日本診療放射線技師会 中四国放射線技師会協議会

公益社団法人日本放射線技術学会 中国・四国部会

公益社団法人日本放射線技術学会 中部部会 アンギオ・放射線防護研究会

趣 旨：東日本大震災に伴う福島第一原発事故から一年半が経過したが、震災がれきや汚染土の処理など、放射性物質による環境汚染の問題が未だ報道されています。一般市民の間に広がった放射線被ばくに対する不安は医療での被ばくも同列に考えられており、放射線診療に対する疑問や不安を訴える患者に接する機会が増えています。しかしながら、患者の質問に対応する診療放射線技師の間でも被ばくに対する誤解と混乱が生ずる場合があります。被ばくの分類、形態および単位などの基礎的な事項を再確認する必要があります。

今回の事故以降、関連学会はホームページを通じて情報を提供しています。これの情報を整理し、放射線被ばくの基礎的な事項と原子力災害の最新の知見から、放射線被ばくに対する一般市民の不安を理解し、医療現場での患者の不安にどう対応するかを学ぶことを目的としております。

多数の会員諸氏のご参加をお待ちしております。

—プログラム—

司会 松山赤十字病院 水谷 宏

講演 1

「放射線被ばくに関する知識の再確認」

金沢大学附属病院 放射線部 能登 公也

講演 2

「医療現場におけるリスクコミュニケーション」

浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 竹井 泰孝

講演 3

「未だ消えぬ住民の放射線不安～現地支援活動で判ったこと」

NPO 法人 放射線環境・安全カウンスル 放射線計測技術開発ユニット研究員
福島県放射線災害対策アドバイザー

佐瀬 卓也

総合討論

お問い合わせ

中四国放射線医療技術フォーラム 2012 事務局
実行委員長 水口 司 csfrt2012-office@umin.ac.jp